

立憲民主党宮城県第2区総支部長
泉区、宮城野区、若林区

鎌田さゆりさん

コロナ対策が最優先!
自粛と補償はセット!

暮らしと権利と、
子どもと平和。

自分の政治信条を貫きながら立憲民主党の一員
として活動しております。

憲法に社会の様々な制度が追いついていけるよ
う、国政への再挑戦に向け頑張ります。働く
人と子ども達、高齢者や女性、この国の土台を支
える生活者の暮らしと平和を守り、格差と貧困、暴
力の無い社会を目指し活動していきます。

今後も、皆さんのもとへ出向いて、皆さんのお
声を聞き、署名や街頭運動で政治に訴え、シ
ステムや仕組みを変えられるよう力を尽くして参
ります。皆さまの変わらぬご支援をいただければ
幸いです。

鎌田さゆり

PROFILE

1965年1月8日 宮城県仙台市生まれ
1983年3月 宮城学院高等学校卒業
1987年3月 東北学院大学 経済学部経済学科卒業
1995年～ 仙台市議会議員(一期目)(泉区)

2000年～ 衆議院議員(二期目)(宮城2区/泉・宮城野・若林)
・法務委員
・文部科学委員理事
・内閣委員理事
・民主党常任幹事
・男女共同参画委員長
・民主党国対副委員長 等
2015年～2017年 宮城県議会議員(一期目)(泉区)



鎌田さゆり

「鎌田さゆり」さんの主張と政策をご紹介します。

医療・介護福祉従事者を守る

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、協力すればするほど赤字経営となる医療機関・医療従事者や介護現場への補償と予防的PCR検査を実施すると公言した政府は約束を守るべきです。

経済対策は内需拡大から

法 人税・所得税・金融資産課税見直し

消費税減税・法人税・所得税見直し・金融資産課税・物品税復活・お金のあるところから取るべし、ナイところから取るべからず。物品税(贅沢品への課税)の復活を視野に、法人税・所得税(金融資産課税)の見直し。

雇 用を守る

コロナ禍で雇止め解雇が7万人を超え、半数は非正規雇用で働いていたことが判明しています。平成の30年間で労働法制の改悪が進み、非正規雇用が爆発的に増えました。同一賃金同一価値労働、最低賃金のボトムアップを勝ち取るため闘います。

介 護職・保育職への家賃補助

保育士さん・介護士さんへの家賃補助制度の全国展開を!

教 育予算拡充

人材こそ宝。若者の学ぶ権利を奪うものと徹底して闘います。奨学金制度見直しと学費の値下げのため働きます。日本学術会議への政府の人事介入に抗議します。

脱 原発と自然再生 エネルギー立国化

水力・風力・地熱・太陽光の総動員。自然再生エネルギーで原発に依存しない社会を!! 仙台には、自前の発電で市電を走らせていた歴史があります。エネルギーの自立と循環は不可能ではないのです。

公 文書管理の徹底

民主制の基本は情報公開です。歴史を検証するための国民共有の財産『公文書』。隠ぺい、捏造、破壊は言語道断です。適正管理を徹底します。

平 和憲法堅持

集団的自衛権行使容認の撤廃を目指します。

戸 別所得補償制度の復活

食料自給率を上げ一次産業経営補償は政治の最大の責務です。安心・安全な『食』を追求します。

無関心でいられても無関係ではいけない、それが『政治』です。



変える一歩は
小さな声から
はじまります。

わたしたち、立憲民主党がめざすのは、日本に真の意味での草の根民主主義をつくりだすこと、そして現場の切実な声に根ざした政治を実現することです。

色々な困難を抱える人たち、様々な課題に果敢に挑戦する人たち、それでもなんとか政治を変えたいと願う人たちがいます。

本当の変化は、必ず小さな声からはじまります。

立憲民主党の挑戦は『政治』を国民の手に取り戻すための挑戦です。官邸の顔色を伺う『忖度政治』をとともに変えていきましょう。

わたしたちには、あなたの力が必要です。

立憲民主党 代表 枝野 幸男

「鎌田さゆり」さんの趣味・活動をご紹介します。



百人一首・競技かるた
六段、元準Queen、
地域の文化活動を応援

お菓子作りから農業まで
視野が広いから理解できることがある。

食の安全・安心を守る 一次産業・地産地消推進活動



農業
コンパインで
稲刈り!!



こう見えて
掃除大好き



シフォンは
お任せあれ!!



鎌田さゆり作
シフォンケーキ



好きな言葉
学びて思わざるは
則ち罔(くら)し、
思いて学ばざるは
則ち殆(あやう)し

好きな食べ物
●魚・野菜
●モンブランケーキ